



# 6月28日Jリーグの裁定下

## 鈴鹿ポイントゲッターズのJ3参入資格を剥奪

### 市長は計画を断念せよ

6月28日、Jリーグ理事会は八百長行為の指示や不適切な金銭の支払いなどが発覚した鈴鹿ポイントゲッターズに対し、J3昇格に必要な「百年構想クラブ」の資格を失格とする決定を行った。これによりポイントゲッターズの来期J3昇格の可能性は無くなった。再申請すれば最短で2024年シーズンからJ3参入の可能性はあるが、J3規格のスタジアム

を急いで作る理由は無くなった。

末松則子市長は「大変残念な結果で、重く受け止めている」と言うものの、「今後についてはクラブの方針を確認したうえで、協議を行っていききたい」「サンスポ」28日WEB版)とのコメントを出し、スタジアム建設の姿勢は変えないことを示唆した。

6月20日、塩見大輔氏(アンリミテツ

ド元執行役員)が鈴鹿警察署に逮捕されたニユー

スは衝撃だった。八百長

行為をはじめとする様々な不正をSNSで発信し続けていた塩見氏が逮捕されたことは一種の口封じであり、ポイントゲッターズの資格回復に向けた布石ではないかとの憶測が飛び交った。

# JFL 鈴鹿の資格失格

## 八百長指示問題 来季J3入り消滅

中日新聞 6月28日 20面 【スポーツ面】

Jリーグは28日、八百長行為の指示や不適切な金銭の支払いなどが発覚した日本フットボールリーグ(JFL)の鈴鹿ポイントゲッターズに対し、華加盟に相当する「百年構想クラブ」の資格を失格とした。同日の理事会で決めた。鈴鹿は今季から元日本代表FWの三浦知良が加入し話題を集めているが、来季のJ3入りはなくなった。

想クラブの資格を既に停止しているが、ガバナンス(組織統治)体制などが改善されれば、解除する考えを示していた。鈴鹿は今年27日、吉田雅一社長ら全役員の辞任などの改善策を発表したが、28日の理事会で解除は認められなかった。鈴鹿が新たな株主を見つけれないことなどを失格の理由に挙げた。

だと言明した。ガバナンスの改善などが確認され、資格を得た場合、最短で2024年シーズンからJ3に加わる可能性はある。日本サッカー協会によると、鈴鹿は20年11月、同じ三重県内を拠点とするライバルチームのJ3昇格を妨害することなどを目的に、運営会社幹部(現在は辞任)がリーグ最終戦のソニー仙台戦で敗戦することを画策。「わざと失点するように、ファウルして

PKを与える」などと指示した。監督、選手は指示に従わなかった。その後、クラブ側は同幹部に「不正行為を公表する」などと脅され、2500万円を支払った。仙台戦で鈴鹿は0-1で敗れた。協会は問題発覚後に懲罰として没収試合(0-3で鈴鹿の敗戦)にした。三浦の兄で、鈴鹿の代表取締役も兼任することになった三浦泰年監督は「内容については十分理解した。Jリーグに認められるようなクラブとして盤石な体制を組み、前に進みたい。(今季の)残りの試合がなくなったわけではなく、11月に(百年構想クラブ資格を)再申請して承認頂けるよう、全力を尽くす」とコメントした。(深世古峻)

中日新聞 6月28日 14面 【三重版】

## 鈴鹿ポイントゲッターズ資格失格

### 識者「対応、後手だった」

日本フットボールリーグ(JFL)・鈴鹿ポイントゲッターズのJ3昇格に必要な「百年構想クラブ」の資格が、二十八日のJリーグ理事会で失格とされた。JFLに参戦して四年目。元運営会社幹部による「不正行為」の告発などに端を発した問題は目標とする来季のJ3入りがついてくる事態に

日(二十七日夕方)だった。運営会社の経営陣の刷新や、同社のオーナーが保有する株式全て(全体の98.5%)を手放して複数の引受先に譲渡し、経営権を委譲する内容。たまた、

**サポーターら落胆…奮起求め**  
サポーターからは落胆ととも奮起を求める声が続出した。鈴鹿市出身で名古屋市在住の会社員杉本和彦さんは「失格も覚悟していましたが、実際に聞くとチームは反省すべきところではあるが、仕切り直して頑張ってもらいたい。残り試合も応援に行こうと決心した。鈴鹿市の自警隊坂田謙二さん(仮名)は「今回の役員人事で上層部には各方面のフ

また6月27日にアンリミテツが吉田社長をはじめ役員総入れ替えをした背景にはJリーグとの何らかの交換条件があったのかとの推測もあった。

しかしJリーグ理事会はそんなゲスの勘繰りを吹っ飛ばす英断を行った。プロスポーツに必要な高潔性を毅然として求めた。

昨年8月、スタジアム建設の計画が明らかとなつて以来、10か月にわたつて反対運動が繰り広げられた。ここに来て事態は新たな局面を迎えている。「市長は計画を断念せよ」の声を一挙に高めていきたいものだ。

2022年7月11日

鈴鹿青少年の森を愛する会通信 No.12

**森のいのち SUZUKA**

編集・発行 萩森繁樹

〒513-0012 鈴鹿市石薬師町354

090-4269-0965

# 立派な言葉は知りませんが、私の心の叫びです。 これを書きながらも涙が伝っています。



7月1日、青少年の森を愛する会は鈴鹿市役所を訪ねスポーツ課の田之上氏らと1時間余にわたって話し合いを持ちました。冒頭、萩森さんが預かってきた市民の手紙を代読しました。紹介します。

例えば一軒の家が建ち、しばらくしてそのまわりに少しでもグリーンが植えられると、何かほっとするような気がするのには私だけでしょうか？

ポイントゲッターズは応援しています。スタジアムの建設も反対しているわけではありません。ただ森の木を、五〇年かけて育った立派な樹木を、きらないでほしいのです。他の場所にしてほしいのです。身を切られる思いです。

それが一部だと解っていてもたとえ一本でも健康な木を切らないでください。チーンソーの音がして次々と倒されていく様子を想像するだけでたまりません。青少年の森が好きです。精神的、肉体的にどれだけ助けられたことでしょうか。その場所が一部であれコンクリートで固められるなんて・・・決してしてほしくないのです。

立派な言葉は知りませんが、私の心の叫びです。これを書きながらも涙が伝っています。

(毎週活動しているランニングクラブの女性 Eさん)



## ここにある50年引き継がれてきたたくさんの命たち。皆の宝物だと思います。

私は鈴鹿市在住の六〇代の主婦です。青少年の森公園に自閉症の障がいを持つ息子と、よく歩きに來ています。

市街地近くにありながら、どつしりと大きな緑を育んでくれている。このような公園は他になかなかありません。ここ2、3年「コロナ禍で出かけられる場所も少ない中、公園には私たち以外にもたくさんの方が来てみえます。

さて、どうして、この場所に？だったのでしょうか？スタジアムの建設地にと選ばれたのは。

つまり管理する側が「要らない場所」と判断したから・・・。

「樹がたくさん生い茂っている。手入れしにくい。」

「(人間から見ても)在る意味がないと思われる場所。」

「合理的でないもの」「めんどうくさいところ」・・・

経済や効率を優先して、どんどん自然を壊していつかなくなってしまった今の時代。だからこそ、ちゃんと、大事なものを見極めて踏みとどまっていたいただきたいと思えます。

「ここにある五〇年引き継がれて来たたくさんの命たち。皆の宝物だと思います。」

それを心ない人たちの手でなくしてしまふのはもったいないと思われませんか？

どうか森を壊さないでください。

樹を切らないでください。

鳥たちの声を消してしまわないでください

皆で、この先も、森を育てていきましよう。10年、20年、と長い目でみたら、きっとその時、森を残してよかったと思えます。きっと。

(E.Fさん)



スポーツ課と懇談  
7月1日 鈴鹿市役所





# 効力を失った協定書は無効 スタジアム 計画は白紙に戻せ 市長は市民に謝れ

経営権を失ったノーマーク社との協定は無効

(1) 鈴鹿青少年の森へのサッカースタジアム建設計画は2021年(令和3年)6月28日に、鈴鹿市と、(株)ノーマーク及び(株)アンリミテッドが締結した「スタジアムの設置及び管理に関する協定書」に基づきすすめられている。

その協定書12条(協定の解除)では「甲は、乙が本協定に定める義務を履行しないとき、又は施設を使用目的以外に使用したときには、本協定を解除することができる。」とされている。

乙は(株)ノーマークと(株)アンリミテッドである。(株)ノーマークの西岡社長は(株)アンリミテッドのほぼ全ての株式を所有しており、スタジアム建設の資金繰りを行っていたと言われている。

その(株)ノーマークが、Jリーグから「ガバナンス体制の改善」の指摘を受けたのを機に、2022年6月21日、(株)アンリミテッドの経営権を失うこと

になった。

経営権を失った(株)ノーマークと交わされた協定書は、効力を失ったことになる。

スタジアム計画は白紙に戻し、予定地周囲を囲んだフェンスは即刻撤去すべきである。

**市民の意見を聞かずに決めたことが間違いの原因**

(2) 青少年の森サッカースタジアム建設に対し、多くの反対の声が広がった原因は、末松市長が公園利用者や市民の意見を聞かず、市議会にも諮らずに、(株)アンリミテッドの要望をもとに、非公開で三重県との協定をすすめたことにある。

鈴鹿ポイントゲッターズの山岡社長(当時)は自社のHPで2018年5月19日に「スポーツの杜鈴鹿のメインスタジアム改修がベターである」と述べていたが、2019年9月には、末松市長とともに「青少年の森が最適」であるとしてスタジアム建設推進の要請を行っている。

いつ誰がどういう理由で「青少年の森が最適」と判断したのか?不明のままである。

**基本を踏み外した末松市長は謝罪せよ**

(3) また、県民・市民の財産である公有地を使うなら、計画段階で計画の全体像を明らかにし、公園利用者、市民、市議会に諮るのが住民自治の基本である。この基本を踏み外したことについて、末松市長は謝罪すべきである。



署名数 トータル10,937筆(6/30現在)



今も歩いて署名を集め続ける方々があります。待合室に署名用紙を置いて集めてくださる動物病院の院長先生がみえます。この声、市長に届け!!!

署名を手渡す中村さん 7月1日 鈴鹿市役所

**8月18日(木)**  
**「判決」**

公有地無償貸与取り消し  
請求裁判

1時30分  
津地方裁判所  
第301号法廷



「県の土地である鈴鹿青少年の森をサッカースタジアム建設の為に無償で貸すことは違法である」と訴えた裁判、いよいよ判決が言い渡されます。

市民の意見を聞かずに進めたことは主権在民に反するという訴えに裁判長がどういう判断をするか注目されます。

傍聴席の人数制限がなくなったのでたくさん入れます。皆さん来て下さい。

## 鈴鹿ポイントゲッターズ J3参入資格剥奪

# 市民の声

サッカー好きの80歳です。約35年間高校サッカー部の顧問を務めてきました。

県営スポーツの杜競技場は、高校県総体、全国高校サッカー選手権大会県予選大会の会場であり、サッカー高校生にとって、略称スポーツガーデン(愛称ガーデン)は、聖地であり、のみならず鈴鹿市民にとっても、愛着のある競技場です。

そこを外して、一私企業の公益性のないスタジアム建設の構想に乗り、市民が愛する、公共である青少年の森を、市・県民・市議会に周知することなく壊す、市長の暴挙は許せません。

先ず、「協定書」を破棄し、まともな真の地元密着のサッカークラブに再生するまで待つべきです。その上で、市民の納得を得られるサッカースタジアムを造るべきです。

(勝谷 鐵幸)

### 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿(鈴鹿スポーツガーデン)



三重交通G スポーツの杜 鈴鹿(鈴鹿スポーツガーデン)メイングラウンド:164m×88m ティフトン芝 メインスタンド:約3,300人、サイド・バックスタンド約8,700人(芝生席)収容可能 電光掲示板、照明4基 照度500ルクス 平成4年に完成し、開場記念として名古屋グランパス対読売日本サッカークラブの公式戦も開催されたメイングラウンド。メインスタンドには貴賓席・記者席等も設置され、大規模大会にも対応できる施設です。

【三重交通G スポーツの杜 鈴鹿HPより】

他にサブグラウンド4面を備えています。

## 森のいのち11号と 号外を読んで

今までのすべ  
てがあり、集大成と言いますが、読み終えてから、こうだったのかと改めて考える機会になりました。



裁判は難しいものと漠然と思っ  
ていましたが、その通りでした。た  
いていの人は身近なこととしてふ  
れることのない領域だと思えます。  
「この森を少したりとも失いたくない」の女子高生さんには読んでいただけたでしょうか。学ぶところがいっぱいです。

「エイリアン」は呼びやすいです。  
少しばかりのユーモアと遊び心は  
あってもいいと思います。「ハーツ、  
トイレも無エ、ゲートも無エ」は  
「そんなことはない」と怒られてしま  
いました。どう受け取るかは  
人それぞれですね。私たちはこの  
活動をすることで失うものは何ひ  
とつなく、得るものばかりです。

森に通っているといろんなことに  
出会います。ナイシヨの話ですが森  
には6匹のネコがいると聞きました。  
子猫も生まれたけれどカラス

に持つていかれたそうです。2組の  
大人のたちがエサを……。ネコを  
捨てていく人がいけないのです。動  
物が好きな人は冬は凍えていない  
か、大雨が降ったら濡れていない  
か心配し、見兼ねてそういうこと  
になったのでしょうか。呼ぶと寄っ  
てくるとのこと、長い付き合いなの  
でしょうね。この人たちも(森が無  
くなれば)心が痛いに違いありません。  
第3駐車場にも2匹います。

まだ寒かったころ、「森を壊さな  
いで」と書いたプラカードを持って  
夕方4時半に歩いていたら「第2  
駐車場は5時に閉まるが、この  
管理人さんはやさしいから車が残っ  
ていればカギを掛けないでくれ  
る。車を出したら、閉めて帰れば  
いい」と教えてくれた人がいました。  
なんて親切な情報でしょうか。

シンボル広場で泣きながらこち





らを見ている女性がいて「どうしたんですか？」と聞いても、泣きながら去っていききました。職場で何か辛いことでもあったのでしょうか。その人が今笑顔でいてくれますように祈っています。

まだサッカー場の話がなかった2、3年前まで白いクジヤクがいました。ある日クジヤクはいなくなり、写真と「白いクジヤクがいなくなりました」と札が下げられました。そのバードゲージの前に小さな石を集めてお墓らしきものが作っており、山茶花の花びらが供えてありました。先ほどすれ違った小学生たちが作ったのだと思いました。いまだきこんな子どもたちがいるんだ、そのまま大人になってほしいと思いました。



本当に気を使って下さって、ありがとうございます。号外を配っていたら「何でここに決まったの?」と聞かれました。誰もが抱く疑問です。エイリアンは万人の感覚を持ち合わせていませんね。宇宙人ですから。

私は言霊を信じるので言います。白紙撤回になって5ヘクタールは県に返し、県によって明治神宮のような森に整備していただきます。今ある木は全部残して。全国で植樹祭があり木を植えようと言っているのに、鈴鹿だけ森を壊そうとは恥ずかしい限りです。青少年の森は未来への自然遺産です。今まで変わらずに存在したのは必要だったからです。これからもそうです。森で出会った人、署名してください。森で出会うことを思いながら、小さなことでもコツコツと「オラ、我が道を行くだ」。子どもの時に自然の中で過ごすのはとても大切な経験になります。今、そんなふうと思っています。(Hさん)

※イラストもHさんです



### 鈴鹿市長、スタジアム建設は「今後協議」 JFL資格剥奪で

サッカー日本フットボールリーグ(JFL)の鈴鹿ポイントゲッターズがJリーグから準加盟資格を剥奪されたことを受け、三重県鈴鹿市の末松則子市長は7日の定例記者会見で、クラブ運営会社が鈴鹿市で進めるスタジアム建設について「クラブの新体制で検討してもいい、今後協議していく」と述べた。

鈴鹿では2020年にクラブ幹部による意図的な敗退行為の指示があった。Jリーグはクラブのガバナンス(組織統治)などを問題視

し、今年6月28日に準加盟相当の「百年構想クラブ」の資格を剥奪した。末松市長によると、クラブ側からは同30日に市の担当課に現状報告があり、資格を再申請する意向を示したという。

(7月7日「サンスポ」WEB版)

7月7日付サンスポの記事です。末松市長はこれまで「処分とスタジアム建設は別問題」「今後も支援していくことには変わりはない」と述べていました(4月15日「伊勢新聞」)。しかしポイントゲッターズがJリーグ加盟資格を剥奪されたことで、「Jリーグ入会のために、Jリーグ規格のスタジアムが必要」という理由は消し飛んだ形です。ポイントゲッターズは今年末に「再申請」すると思いますが、いったん剥奪した資格をJリーグが簡単に与えるとも思えません。また役員総入れ替えをしたアンリミテッドが、莫大な資金のかかるスタジアム建設を、はたして続行するのも不透明です。市長は「今後協議」と言っていますが、この状況ならいったん中止するのが普通ではないでしょうか。(よ)

Jリーグ参入資格取り消し決定(6月28日)

もはや不要不急のサッカースタジアム



# いったん停止して出直そう



すぐに囲いを取り外せ スタジアム作るなら青少年の森以外にいくらでも場所はある

## 市長！今度こそ市民の意見を聞いて！



青少年の森と決めたのはアンリミテッド

2021年12月13日に行われた鈴鹿市文教委の議事録によると鈴鹿市は次のように述べている。

「建設場所の選定につきましては…株式会社アンリミテッドが幾つかの候補地の検討を行った結果、立地の優位性などから鈴鹿青少年の森公園内への建設を計画してきました。」

つまり、アンリミテッドが計画し、鈴鹿市はそれを丸のみした、ということだ。市長なら「そこはダメ！市民の憩いの森だから」と言うべきだった。

末松市長は2021年3月14日のJリーグのヒアリングの時にも「公共の鉄道の駅があり、歩いて来てもそんなに遠くない距離で、お客様にとっても不自由をかけないでスタジアムに来ていただければ」とトーンデモ発言をしている。「ここでいう駅とは伊勢鉄道「鈴鹿サーキット駅」だろう(白子駅だと徒歩1時間半かかる!)。だとすれば電車は1時間に1本しかないことを知って言っているのだろうか?」

青少年の森ありきで末松市長は突っ走ってきたように見える。だからチームの経営権移譲という「不測の事態」になっているのに、目の前にある危機が正視できない。市長、今度こそ市民の意見を聞いて、出直してください。(か)